

「はじめまして」

齋藤元子

本年度より、横浜キャンパスで地理学の非常勤講師を務めさせていただくようになりましたことがご縁で、協力研究員としてお世話になることになりました。

私は、明治期の地理教育、なかでも女学校における地理教育について研究をしてまいりました。

文部省顧問であったフルベッキは、明治 5 年、

当時アメリカで広く普及していたミッチェルの地理書を、地理教科書の手本として、文部省に紹介しています。このミッチェルの地理書は、私の出身校お茶の水女子大学の前身である女子師範学校でも使用され、第一期生の青山千世（山川菊栄の母）が所有していたミッチェルの地理書が、現在も大学図書館に保存されています。千世は、女子師範学校入学以前、上田女学校でジュリア・カロザースに学び、地球儀を使ったジュリアの地理の授業を、一生忘れられない感動であったと話っています。

今日、地理学はマイナーな学問ですが、明治期においては、開国により交流の始まった諸外国についての知識を得ることができる学問として人気がありました。明治学院が所蔵していらっしゃる史資料を閲覧させていただき、明治期のキリスト教系教育機関における地理教育の様相を明らかにできたらと希望しております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

（さいとう もとこ 協力研究員）

